

平成 31 年度新年度予算懇談会 開催議事録

開催日時：平成 31 年 4 月 22 日（月）午後 6 時 30 分～8 時 10 分

場 所：笠間市役所 岩間支所 2 階会議室

出席者：11 名

《予算説明後の意見交換》

- 1 道の駅整備について
- 2 空家対策について
- 3 国際化の推進について
- 4 笠間台湾交流事務所について
- 5 かさま観光周遊バスの運行路線について
- 6 市職員人件費について

1 道の駅整備について

【意見等】

農業の振興と観光の拠点などを目的にしていくということだが、一般住民の立場として、来訪者にも勧めることができ、市民の誇りにもなるような場にしてほしい。

また、お土産を買う場所として道の駅を勧められるように、味・品質・見た目・値段が良いものを並べてほしい。そのためにも、生産者も競争意識をもつようにしてほしい。

【回答】

道の駅は、笠間市が建物を建設し、運営は第 3 セクター（株式会社）として行っていきます。農産物・加工品などを販売するうえで、地元の食材や材料を使った加工品ということを基本とすることが必要であると思います。笠間市認定商品（GAP 認定農産品等）の販売も視野に入れ、高い品質を保つ仕組みも検討しながら運営を行っていきたいと思います。

2 空家対策について

【意見等】

笠間市は空家対策に非常に力を入れていると感じている。空家利用希望者が 200 名以上とのことだが、それに対して空家登録件数が少ない。空家登録がしやすくなるようなサポートを市でできないか。

【回答】

空家登録をしてもいいという方もいるが、空家の中が空ではなく荷物や家具

などがあるためなかなか処分できず、登録がなかなか難しいという方が多いという現実もあります。そういった方のために、家財一式を引き取ってくれるような対策ができないか検討しています。

3 国際化の推進について

【意見等】

県外の知人が笠間で市内散策をした際、まちなかのお店の方たちの対応の良さと、あたたかく迎えてくれたことに大変喜んでいました。外国人が就労に笠間へ来るうえでも、あたたかい気持ちで迎えることが大切だと思う。

【回答】

接した人のあたたかさというのは、私達が海外や県外などに行った時、心に残るもの。受け入れ側の対応が重要であると考えています。

4 笠間台湾交流事務所について

【意見等】

なぜ台湾だけに事務所を設けているのか。中国からのお客さんも多いだろうし、他の国から来る観光客もいるはず。

【回答】

台湾へ事務所を置いた経緯としては、市職員が茨城県の国際観光課へ出向した際、台湾からの送客に関する業務などを担当しました。その時に台湾の旅行会社とのやり取りを経て信頼関係が構築されたことや、親日家も多く、訪日外国人の中で台湾の方が多いたことが、台湾へ事務所を設立するきっかけとなりました。今後は観光誘客だけではなく、笠間焼の販路拡大なども視野に入れていきたいと思えます。

また、笠間市では、台湾だけではなくタイやドイツなどいろいろな国とも交流をしていきたいと思えます。

5 かさま観光周遊バスの運行路線について

【意見等】

かさま観光周遊バスを岩間地区も走らせてほしい。

【回答】

かさま観光周遊バスは、周遊観光の推進を目的としたバスです。運行費の一部は、バスが通る周辺観光施設等の負担で運行されています。また、常磐線を利用するお客さまが乗れるよう友部駅も加えています。周遊バスのルート

を増やすと、その分笠間市の補助負担が増えていく状態です。その辺を考慮しながら、今後運行を見直すうえで、岩間地区も走らせることも含めて検討していきたいと思います。

6 市職員人件費について

【意見等】

広報かさま 4月号の9、10ページに掲載されている、平成31年度当初予算額には、笠間市職員の人件費も含まれているのか。また、人件費はいくらになるのか。

【回答】

広報かさまに掲載されている額は人件費も含まれた金額です。今年度の総人件費は、約52億7千万円となっています。